

市長発言要旨

【発表事項】

① 最上川源流よねざわ紅花まつり 2025 の開催について

本市の『紅花プロジェクト』は、市内外に「米沢に咲く、紅花。」の魅力を幅広く発信し認知度を高め実施するものです。また、今年度は、これまでの取組に加え、地元住民や学生、企業等が連携した米沢ならではの取組を広げてまいります。プロジェクトの一つとして、市民や県内外の皆様に紅花の魅力をより身近に感じていただくため、今年も「最上川源流よねざわ紅花まつり」を開催します。

紅花が咲き誇る7月1日(火)～31日(木)の1か月、紅花を「学ぶ」「観る」「染める」「食べる」の4つのカテゴリを五感で楽しんでもいただきます。

今年度は、日頃から紅花に関する取組を行っている学生や企業から紅花の歴史・文化・魅力を幅広くお伝えいただく「よねざわ紅花シンポジウム（7月6日(日)13時30分から伝国の杜大会議室で開催、参加は無料）」を皮切りに、まつり期間中は市内観光施設等5か所（伝国の杜、米沢駅、上杉城址苑、米沢信用金庫本店、ナセBA）で「紅花アレンジメント」を展示する他、各コミュニティセンターでは「紅花料理教室（7月19日(土)14時～松川コミュニティセンター）」や「紅花ペーパーフラワー製作体験（7月19日(土)10時～東部コミュニティセンター）」をはじめとする、様々な紅花関連の体験イベントが実施されます。

また、米沢市上杉博物館で開催される企画展「藍のものがたり紅花のものがたり」や米沢繊維協議会が実施する「米沢織きものグランプリ」等の関連事業とも連携しながら、米沢ならではの企画を充実させてまいります。

さらに、6月30日(月)には、県庁に伺いし、吉村知事に米沢産紅花をお持ちしするとともに「よねざわ紅花プロジェクト」及び「最上川源流よねざわ紅花まつり 2025」について紹介してまいります。今年の紅花まつりも、市内外の方々に米沢の紅花の魅力を存分に楽しんでもいただける内容で開催しますので、皆さんのお越しを心よりお待ちしております。

② 第43回米沢牛肉まつりの開催について

9月6日(土)午後4時から、第43回米沢牛肉まつりを開催します。今年は、昨年より開催日を1週間、開催時間を1時間前倒ししての開催となります。

米沢牛肉まつりは、松川河川敷を会場に、市内畜産農家が生産した米沢牛をすき焼きでいただくおまつりで、米沢牛の消費拡大や銘柄高揚、また“すき焼きのまち米沢”のPRを目的としています。

セット内容は、すき焼きセット4人分14,000円、2人分7,000円で、4人分は米沢牛800gと野菜セット、2人分は米沢牛400gと野菜セットがつきます。その他に日本酒のふるまいも行う予定です。

参加チケットの販売は、8月2日(土)午前10時から午後1時まで、米沢市役所正面玄関にて行います。同日午前10時からインターネットでの販売も併せて行います。詳しくは、お配りしている資料を御覧ください。なお、8月4日(月)以降にチケットが残っている場合は、市役所農業振興課の窓口でも

販売します。

今年は米沢牛150周年の記念の年でもありますので、ぜひ、皆様にはこの機会に最高級の米沢牛を御賞味いただきたいと思います。

【回答事項】

① （主に小中学校の）熱中症対策について

6月に中学生が熱中症の疑いで救急搬送されたことが2件ありました。今年も万全を期さなければいけないと思っています。

はじめに、市全体の取組につきましては、本格的な暑さを迎える前に早めの熱中症対策を市民の皆様に行っていただけるよう4月18日から公式LINEやホームページなどで随時情報発信を行っています。広報よねざわ6月号では熱中症対策に関する特集記事を掲載しました。

健康課では熱中症対策に関するチラシやポスターを作成し、市内施設や関係団体等に対してこれまでに約30,000枚を配布しております。

また、令和7年度から米沢市まちづくり出前講座のメニューに「熱中症予防について」を追加し、現時点で計100名以上の方に保健師による講話を実施すると共に、熱中症発症リスクの高い高齢者に対する予防啓発として、市内の100歳体操グループに出向き、熱中症予防について直接呼びかけを行っております。

クーリングシェルターにつきましては4月23日（水）から開設しており、コミュニティセンターをはじめとした28の市有施設と、今年度から山形県置賜総合支庁本庁舎も追加となり併せて29の公共施設で開放しております。また、12の民間施設にも御協力いただいております。今後も民間企業等にクーリングシェルターの設置・協力を呼び掛けていきます。

そして、市の独自基準による「熱中症予防のお知らせ」も4月23日（水）から運用を開始しており、米沢市の暑さ指数が31以上となる予測が出た場合、公式LINEにて情報発信を行います。暑さ指数が31未満の場合においても、各課連携のもと注意喚起情報を公式LINEにて毎週発信することで啓発をしております。

次に、小中学校での熱中症対策につきましては、昨年から引き続き、「高性能気象観測センサーの導入」と「熱中症リスク判定AIカメラの試験導入」を行っております。気象観測センサーは、市内3か所に設置し、気温、湿度、暑さ指数、雨量などのデータを閲覧できます。昨年まで、中学校と一部の小学校で閲覧しておりましたが、今年度は、全小中学校で気象観測センサーのデータが閲覧できるようにしたところです。また、熱中症リスク判定AIカメラは中学校に設置し、昨年まで各校2台だったカメラを、3台にしました。測定のためにカメラに並ぶ時間を短縮できたり、カメラをより多くの場所に分散して設置することができたりと、活用の工夫が図られるものと期待しています。

熱中症対策で大事なことは、一人ひとりが熱中症の怖さを知り、状況や体調を自己理解することです。今後とも、効果的な対策方法を活用しつつ、児童生徒への熱中症対策の啓発活動を行ってまいります。

② 市立病院の無痛分娩料金引き上げについて

この度の米沢市立病院における無痛分娩料の引き上げ（5万円から10万円に引き上げる）については、市議会6月定例会において渡邊病院事業管理者から説明があったとおりですが、現在通院されている

方々もいらっしゃることから具体的な時期については、調整中です。料金引き上げの背景については、周辺病院の料金との均衡化のほか、分娩に対応する職員、とりわけ麻酔科医は常駐することが求められ、分娩に関与する時間が長時間にわたり人件費がかかることなどから、より安全で適切な医療を継続的に提供していくために、料金を適正な水準に変更するものです。